

# ベトナムの典型的な農村景観が広がる タイビン省での自転車を核とした 持続可能な交通まちづくり活動

活動地域  ベトナム

ひろげる助成

## 3年目

知識の提供・普及啓発

自転車PR走行 参加者数	約90人
ワークショップ 参加者数	36人
今年度計画の達成度	95%
全体計画の達成度	95%



エコ観光PR走行(バックトゥアン村)

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

本活動の目標は、タイビン省への施策展開への一歩であったため、関係する行政や関連機関も多く、折衝が停滞したり、多様なやりとりが必要とされたこと。

#### ■ 工夫した点

現地スタッフが中心となり、窓口となる現地の観光協会と密に連絡を取り、細やかで迅速な調整を図るよう努め、代替案をたてながら、柔軟な対応を行ったこと。

### 課題

バイクや自動車の普及により、ひどい交通渋滞や環境汚染が進むベトナム他都市に近づくタイビン省の環境維持や持続可能な交通まちづくりに貢献する。

### 目標

自動車が普及していない農村地域を有する地域なので、自転車を活用したエコツーリズムや農村での自転車移動の環境整備を進める。

### 活動内容と成果

- ①環境にやさしく安全な通学の推進  
二つの村で、自転車優先の標識や路面表示を仮設し、PR走行を通じた啓発活動を実施。計約90人参加
- ②自転車のエコツーリズムの展開  
タイビン省全体でサイクリングルートを提案。バックトゥアン村にて具体的な提案と自転車PR走行を実施
- ③自転車を中心にしたエコ交通の展開  
村役場・観光協会、関係機関等とのワークショップやシンポジウム等、協議を通じてエコ交通の理解や協力を得られた。今後は、村のマスタープランにおいて当団体の提案を反映し、また今後も策定支援(技術提供)を行う



エコツーリズムシンポジウムの様子

### 全助成期間の活動を振り返って

活動開始後約2年は新型コロナウイルスの影響で現地へ渡航できなかったが、既往活動で培った現地ネットワークやスタッフ、関係者の協力を得てできるものから始め、大きな支障なく進められた。そのおかげで、当団体が渡航できるようになってからは基礎調査や信頼関係が築けていたため、観光協会や村役場、様々な関係機関とスムーズに協働することができ、地元(子どもたち)と協働したり、施策の展開に貢献することができた。



ミンラン村での通学安全自転車走行PR

〒114-0014  
東京都北区田端2-4-19  
電話：03-6914-3404  
E-mail：carfreejapan@cfjdjapan.org  
HP：http://www.cfjdjapan.org



### 今後の展望

今後は、バックトゥアン村のマスタープラン(道路計画、景観(環境保全)、観光計画等)策定の技術支援を継続する。また、本活動を通じて良好な関係を築けたタイビン省観光協会と一緒に、他地域への活動展開を継続していく。本活動で使用した電動アシスト自転車は、終了後も数台を残して観光利用に活用してもらい、有機農業やエコツーリズムに意欲的な北西部の村にて、自転車まちづくりの支援を行っていく予定である。

